

日本学術会議第二部会（第21期・第3回）議事要旨

- I 日 時 平成21年4月6日（月）15:00～17:00（第1日目）
4月7日（火）10:00～12:00（第2日目）
- II 場 所 日本学術会議6-A会議室(1)、(2)
- III 出席者（敬称略）
(46名)
浅島、今井、大隈、岡田（2日目のみ）、春日、片山、金澤、唐木、岸、桐野、黒岩、小原（1日目のみ）、齊藤、柴崎（1日目のみ）、生源寺、白鳥、高戸（1日目のみ）、武田、竹縄（1日目のみ）、谷口（直）、富樫、戸塚、中田、鍋島（1日目のみ）、西澤、野口（2日目のみ）、野本（1日目のみ）、橋田、林、樋口（2日目のみ）、廣橋（1日目のみ）、真木、松澤（1日目のみ）、三品（2日目のみ）、南、宮下（1日目のみ）、室伏、飯塚（2日目のみ）、柳田（1日目のみ）、矢野（1日目のみ）、山内、山本（雅）、山本（正）、吉本（2日目のみ）、鷺谷、渡邊の各会員
(事務局：川上、青池、小栗、小川)
- IV 議事概要
- 1 開 会
事務局が、定足数を確認の上、開会した。
 - 2 前回議事要旨（案）の確認
各先生方にご一読いただき、意見等があれば、事務局まで申出ることとした。
 - 3 夏季部会・シンポジウム（大阪開催）について
谷口（直）会員より、8月18日（火）に大阪大学で開催予定の夏季部会、公開シンポジウム「今、医療の最前線では？」について、発言があった。
 - 4 第二部会の定員について（現在、学術会議全会員210名中65名）
唐木会員より、経緯や現状等について発言があり、浅島部長から、本件は第一部や第三部とできる限り問題が起きないように調整し、軟着陸させる方向がよいのではないかと発言があり、了承された。
 - 5 応用生物学委員会の名称変更について
鷺谷会員から、「応用生物学委員会」の名称を「統合生物学委員会」に変更することについて発言があった。
 - 6 各機能別委員会、分野別委員会からの報告等について
以下のとおり報告を行った。
・選考委員会：金澤会員

- ・ 科学者委員会：浅島会員
 広報分科会：室伏会員
 男女共同参画分科会：片山会員
 学術体制分科会：谷口（直）会員
- ・ 科学と社会委員会：鷺谷会員
 科学力増進分科会：室伏会員
- ・ 国際委員会：今井会員
 国際会議主催等検討分科会：橋田会員
 アジア学術会議分科会：春日会員
- ・ 基礎生物学委員会：黒岩会員
- ・ 応用生物学委員会：鷺谷会員
- ・ 農学委員会：真木会員
- ・ 食料科学委員会：山内会員
- ・ 基礎医学委員会：谷口（直）会員
- ・ 臨床医学委員会：桐野会員
- ・ 健康・生活科学委員会：南会員
- ・ 歯学委員会：渡邊会員
- ・ 薬学委員会：橋田会員

また、南会員から、健康・生活科学委員会より提案のあった「労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全」設置について、本日の幹事会で承認されれば始動していきたいと発言があった。

7 その他

- ・ 日本の展望委員会関係（「生命科学作業分科会中間報告」、「第四期科学技術基本計画に盛り込むべき課題と論点」）について議論を行った。
- ・ 浅島部長から、学会の公益法人化について発言があり、公益法人化した先行学会から情報を得ることや、日本学術会議でシンポジウムを開催していくことを検討していくことになった。
- ・ 浅島部長から、ジャーナル問題について発言があり、科学者委員会に「学術誌問題検討分科会」の設置、外国誌の高騰による研究への影響、国産国際誌の必要性、オープンアクセス化等について議論があった。
- ・ 浅島部長から、大型研究について発言があり、科学者委員会に「学術の大型研究計画検討分科会」の設置、生命科学分野で必要な大型研究や大型機器・設備は何か（電子顕微鏡、functional MRI, National Children Survey など）といった議論があった。
- ・ 浅島部長から、各大学が置かれている現状、大学のあり方（大学法人化後のレビュー）等について発言があり、教員数削減や評価増加などによる教員の疲弊、テニートラック制の必要性、留学生支援、官・政治との交流、マスコミ対応といった議論があった。

以 上